

# [優 秀 賞] 安全対策ネットワーク絶縁装置「ゼツエン犬」



代表取締役社長  
國司 晃氏

株式会社インタフェース

〒732-0828 広島県広島市南区京橋町10-21

TEL.082 (262) 7777

<https://www.interface.co.jp/>



セキュリティ対策ネットワーク絶縁装置「ゼツエン犬」は、ランサムウェアなど外部からのウイルス感染を防ぎ、ファイルを安全に転送するために開発した製品だ。ウイルス感染を防ぐため、システム面の対策を施している企業は多いが、ハッカーは穴を見つけて侵入する。ハード面で対策する製品はあったが、価格面がネックだった。自社の産業用コンピューターをベースにすることで、高いコストバリューを実現した。

ゼツエン犬はファイルを転送する送信側、受信側双方に専用の装置を設置し、利用する。特許技術「セキュリティバス」により、IP通信パケットを完全に遮断しつつ、特定のデータだけ転送できるメード・イン・日本の技術。社内と協力企業の間で検証を重ねた技術を搭載し、2025年2月に発売した。

ランサムウェアの被害は国内でも大きな社会問題となっており、対策が急務となっている。特に対策が遅れている中小企業は被害件数で全体の3分の2を占めるという。ゼツエン犬と同様にハードによって、ウイルス感染を防ぐ既存製品に比較して、価格を20分の1に抑えたことで、中小企業にも導入可能な価格にした。

インタフェースはさまざまな用途の産業コンピューターを生産。生産拠点は広島県大竹市の広島事業所、大分県国東市の大分事業所の2カ所で、経済安全保障の観点から、自社開発、自社生産を貫いてきた。